

気を失って倒れたらてんかんのかな？

この世の中には気を失って倒れたり、あるいはけいれんを起こしたりする病気や原因は山のようにあり、その一つがてんかんです。医師は問診や検査を行い、その中から病気を見つける、あるいは除外するという作業を行います。

たとえば、よくある「気を失って倒れた」という場合にも、問診は重要な診断のカギになります。気分不良で、あるいはストレスで血の気が引く感じになって気を失って倒れたのであればてんかんではなく失神の方を疑います。また、過呼吸を起こしたり、顔色は変わらず目をつぶったまま脱力していたりして、10分も20分も症状が続く状態であれば、これもてんかんではなくストレスによる心因性発作の方を疑います。逆に目を開けたまま、行動や表情がおかしかったのならてんかんを疑うでしょう。失神であれば、心臓や血管の病気が隠れていないかを調べますし、心因性発作であればそのストレス誘因をカウンセリングする必要があり、そしててんかんであればMRIや脳波検査を行うという風に検査などを進めていきます。

